

ムラのヒーロー

手凧 春彦



年の暮れが近づくと、恒例の（消防団）による活動が活発になってくる。そう…酔っぱらい集団と陰口をたたかれながらも、しっかりと生き抜いているムラを守る正義の味方集団だ。



（ただし、キヲツケすると、がに股猫背で団員と識別可）



とにかく…正義の味方でなければならぬ！

（飲酒は、ヒーローの太陽エネルギーや波動エネルギーの代用と思っていただければ、体温とカロリーの維持補充、精神力の向上を図るには非常に有効である。）

行方不明者の捜索から、自然災害の復旧、人命救助、とつしより（高齢者）の買い出しとカウセリング等々、非常にその任務は多岐にわたる。



テレビ番組のヒーローも数十年前のコスチュームから驚くほどの進化を遂げ、これはもうタイツとか、お面というパーツではなくなってきたわけで、当然ムラの正義の味方達もそれなりの進化を遂げてきているのだ。ハッピーに地下足袋なんぞという江戸期の「火消し」とは、おさらばして当然だ。制服制帽と、ひと目では正規の消防署員と見分けがつかないほどである。



そんなわけで、今年も繰り広げられる、年末恒例の

「夜警」！



制服制帽に身を包み、ムラの平和を守るため、さっそうと出勤していく団員たち。

高齢化率約60%！

このムラの就寝時間は早い！早すぎるっ！

午後9時…いや8時っ



戸外に洩れる窓の明かりがないことがそれを裏付ける。

が、（消防団）の容赦ない正義の鉄拳は否応なく振り下ろされていく…



体力維持のためのエネルギーを注入した彼らの正義の叫び声が消防車（運転手はエネルギー

ー補充なし）の拡声器で増幅されムラの谷間にこだまする！

「火の用心！火のよ〜じ〜ん！ひ〜の〜よ〜じ〜ん〜！」

これでもか！

これでもか！

もひとつおまけに「ひ〜い〜の〜お〜よ〜お〜じ〜い〜ん〜ん〜ん〜！」



この仕打ちは、三日三晩、深夜7時まで繰り広げられ、ムラの平和が保たれている…

